皆様からいただいた寄付は、次のような事業に使われています。

認定NPO法人 コミュニティケア街ねっと

【事業①】 地域交流事業 あみぃこ

事業内容：地域交流の場としてさまざまな教室や講座を開催しています。「amico」はイタリア語で「友達・仲間」という意味です。参加者が顔見知りになることで地域での仲間が増え、より身近な楽しい関係が作れる場となっています。千葉、柏の年間で合計のべ約 3,000 人が参加しています。

■事業の対象者 ： 千葉市・柏市の住民

▲健康麻雀教室

▲編み物教室

【事業②】 貧困の連鎖防止の活動

事業内容1：すまいるじょい

貧困家庭で育ったために経験できていないことを体験する企画や、学習支援、生活習慣を身につける支援をしています。月１回の室内での開催の他に、地域のイベントに参加したり、動物園に出掛けたりといった余暇支援も始めています。実験的に始めたこの活動の事業化を目指しています。

■事業の対象者 ： 貧困家庭の子ども

事業内容2： 100 円食事会

「安価で簡単、材料使い切り料理会」などをテーマとし、他の事業を通じてつながりのできた生活困窮者や、社会的に孤立している人を対象に料理会を開催しています。食費を抑えたり栄養バランスの改善につながるばかりでなく、参加者同士の交流にもなっています。

■事業の対象者 ： 生活困窮者自立支援事業や千葉市協働事業「救急車の適正利用促進事業」※の対象者

※千葉市協働事業「救急車の適正利用促進事業」…事業⑤参照

事業内容3：こども食堂「風のロッジだれでも食堂」

八街市にある生活クラブ風の村特養ホーム内の喫茶アルルカンで、地域の人や風の村と一緒に、こども食堂「風のロッジだれでも食堂」を開催しています。少子・高齢化が進み、コミュニティの力が弱くなっている中で、地域の世代を超えた交流と支え合いの関係づくりにお役にたちたいと思っています。

■事業の対象者 ： 地域の住人

【事業③】 子育て支援事業

事業内容：こどもカフェ 3rd プレイス虹

学校でもなく家庭でもない第三のこどもの居場所を、千葉市稲毛区の地域活性化支援事業・千葉市後援事業として稲毛区園生で運営しています。週１日の放課後の時間を、スタッフ・学生ボランティアなどが見守る中で異年齢の子どもたちが自由に過ごしています。

■事業の対象者 ： 小学生～高校生

【事業④】 救急車の適正利用促進事業（千葉市消防局協働事業）

事業内容：千葉市では年7回以上救急車を呼んだ人を「頻回利用者」呼びます。このような人たちの多くは、孤独感など何らかの問題を抱えています。救急車の適正利用を促進するためには、対象者が社会から孤立しないように支援することや相談できる人の存在が大切であり、地域住民の居場所となるサロンへの参加や、支援者へつないでいます。また、定期的な電話かけによる傾聴を実施しています。

■事業の対象者 ： 千葉市稲毛区内の救急車の頻回利用者

【法人からのPR】

「つなぐ」をキーワードに、NPO として常に社会に目を開き、より良い地域づくりのために何が必要か、何ができるのか、新しい仕組みや社会的な価値の創造について考えながら取り組んできました。
私たちの事業のすべてが、「だれもが自分らしく安心して暮らせる地域づくり」を推進するための事業です。特に、子育て中の人、高齢や障害などで生きにくさを抱えている人やその傍らで支援している人、「つながり」という社会的関係を持たない・持てない・持ちにくい人を対象とし、人と人が出合い、新たな縁を結び、相互の理解から、ともに暮らしやすい地域コミュニティづくりを進めています。また、住民主体の互助活動の活性化の支援、地域づくりを推進する人材の創出と組織化（地域資源の創出）に取り組み、ともに地域づくりを進めることが大切だと考えています。
皆様のご協力を心よりお待ちしています。

【法人HP】 https://www.ccmachinet.com/

＜寄付ページ＞ https://www.ccmachinet.com/kihu